



歳出予算を別の視点でみると…

義務的経費

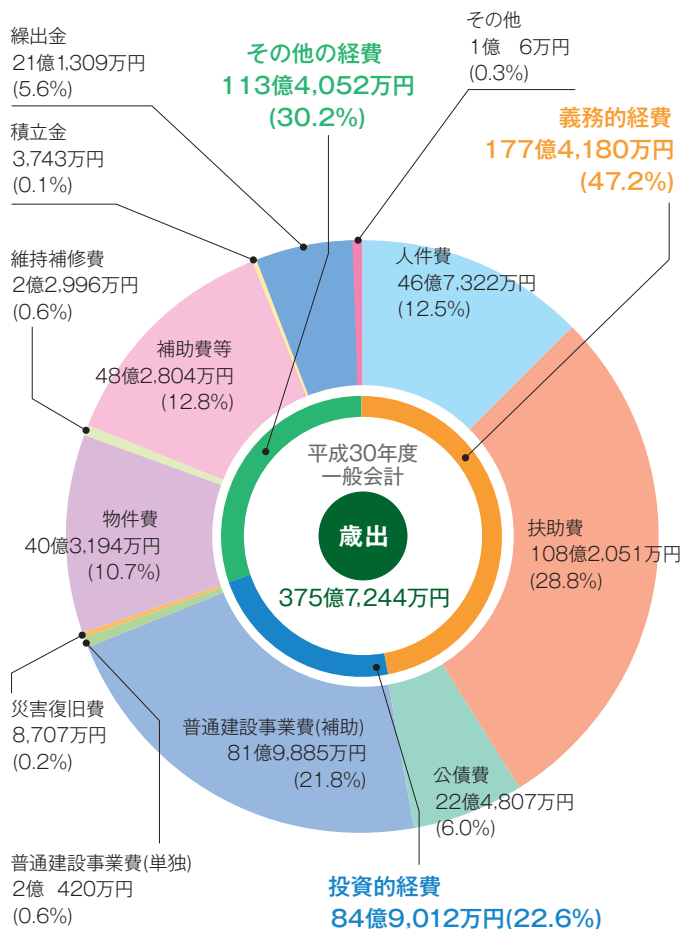
- ・人件費……………46億7,322万円
- ・扶助費……………108億2,051万円
- ・公債費……………22億4,807万円

投資的経費

- ・普通建設事業費
補助事業費……………81億9,885万円
単独事業費……………2億420万円
- ・災害復旧費……………8,707万円

その他の経費

- ・物件費……………40億3,194万円
- ・維持補修費……………2億2,996万円
- ・補助費等……………48億2,804万円
- ・積立金……………3,743万円
- ・繰出金……………21億1,309万円
- ・その他……………1億6万円



名護市の予算を1カ月の家計にたとえると…

※予算額100億円=家計10万円

収入

基本給(市税)	62,832円
諸手当(財産収入、使用料、手数料など)	33,911円
親からの助成 (国県支出金)	236,840円
(地方交付税)	
(交付金、譲与税など)	
貯金の取り崩し(繰入金)	11,389円
銀行からの借入(地方債)	30,752円

月計 **375,724円**



支出

食費(人件費)	46,732円
医療費など(扶助費)	108,205円
家のローン返済(公債費)	22,481円
家の増改築など(投資的経費)	84,901円
光熱水費(物件費)	40,319円
住宅や家電の修理費(維持補修費)	2,300円
学費、各種会費など(補助費等)	48,280円
子どもへの仕送り(繰出金)	21,131円
その他	1,375円

月計 **375,724円**



特別会計 予算

国民健康保険特別会計	78億 375万円
介護保険特別会計	44億8,900万円
公共下水道事業特別会計	10億7,926万円
後期高齢者医療特別会計	4億8,982万円
第三地区土地区画整理事業特別会計	9,869万円

水道事業 会計予算

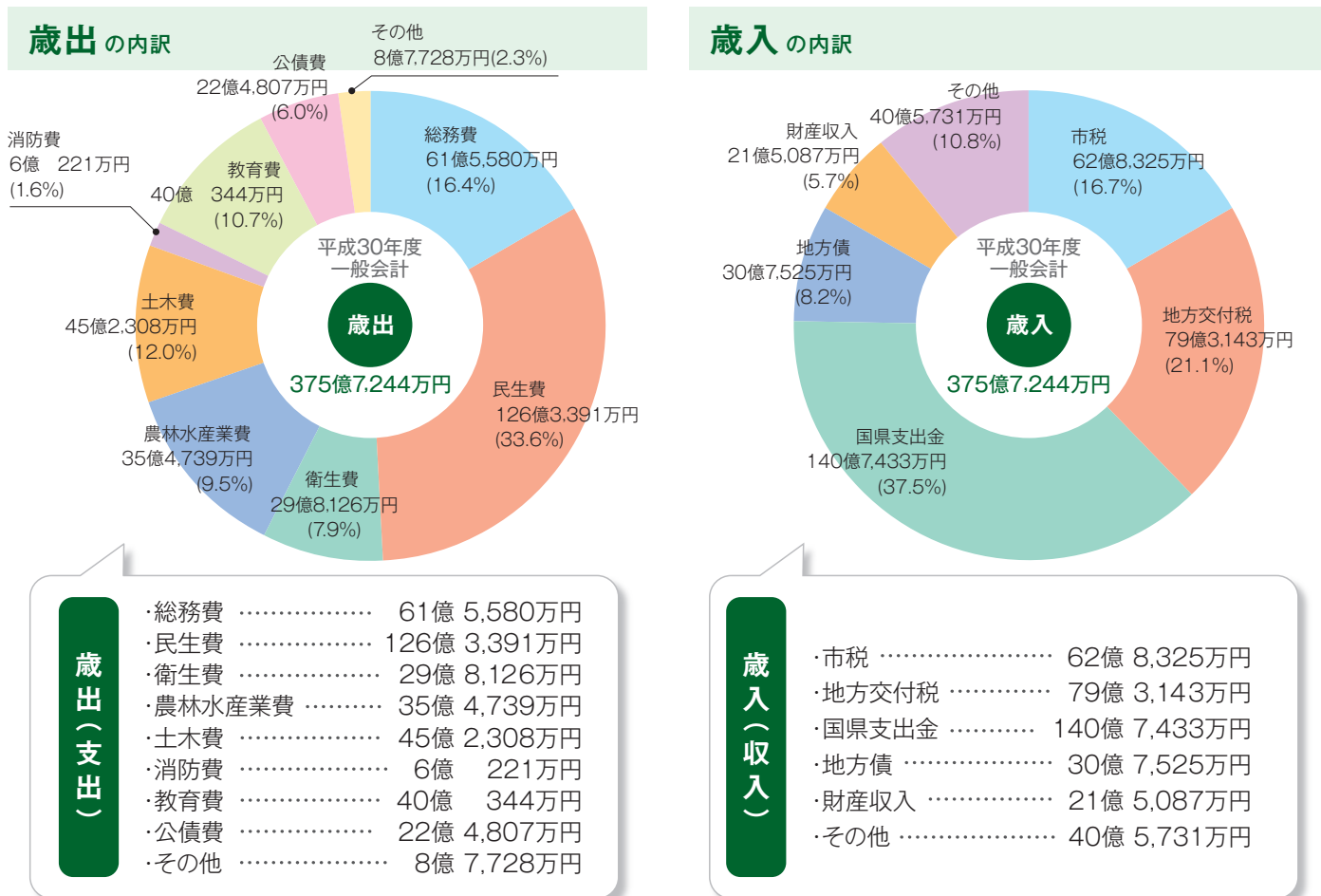
	歳入	歳出
収益的収支	19億2,068万円	17億1,578万円
資本的収支	5,846万円	5億 855万円

平成30年度 一般会計

当初予算額 375億7,244万円

(対前年度比1.5%減、5億7,968万円減)

名護市食鳥処理施設整備事業や金融・IT産業等集積基盤整備事業(みらい5号館)(北連*)の減などにより、前年度と比べて5億8千万円減額となりました。*北連:沖縄北部連携促進特別振興事業



当初予算に計上された主な事業

- 名護市食鳥処理施設整備事業**
予算額 **24億 5,794万円**

県内食鳥処理施設は老朽化が著しく、県産鶏肉の安全・安心の確保が困難となっていることから、県内の食鳥処理業者の協業化および老朽化した食鳥処理施設の再編を行い、新たな食鳥処理施設を整備する。
- 21世紀の森公園建設費**
予算額 **17億 29万円**

市街地に位置する総合公園としてスポーツおよびレクリエーション並びに憩いの場を提供する公園を整備する。(平成30年度は市営球場の建築工事などを実施する。)
- 屋部中学校校舎新築事業**
予算額 **5億 2,839万円**

生徒数増に伴う教室不足を補うため、校舎の新築工事を行う。
- 学校給食施設整備事業**
予算額 **4億 8,719万円**

名護市学校給食施設再整備基本計画に基づく、(仮称)名護第一学校給食センター建設(平成32年1月の供用開始)に向け取り組む。
- 瀬高第三市営住宅新築事業(基幹)(北連)**
予算額 **3億 6,899万円**

住宅困窮世帯の生活の安定、定住人口の維持拡大による地域コミュニティの活性化を目的とした市営住宅12戸の新築。